

第一回トップセミナー

『デザインマネジメント』の組織への導入、実践を通じ企業の独自価値(Only One Value)を創造しよう!』(デザインマネジメント& DAYSセミナー) DAY1を開催

二〇一八年五月に特許庁「産業競争力とデザインを考える研究会」から、デザインによる企業の競争力強化に向けた課題の整理と対応策として『デザイン経営宣言』が発表された。そこには、『デザインは、企業が大切にしている価値、それを実現しようとする意志を表現する営みである。(中略) その価値や意思を徹底させ、それが一貫したメッセージとして伝わることで、他の企業では代替できないと顧客が思うブランド価値が生まれる。さらに、デザインは、イノベーションを実現する力になる。』と記載されています。

欧米一流企業では、デザインマネジメントを導入し経営の中枢にデザイナーが参画し、大きな成果を出していますが、日本国内においては、デザインの経営における重要性が理解され始めたのはここ最近で、二〇一九年はまさにデザイン経営元年になるものと予想されます。

こうした状況を踏まえ、十一月二〇日(火)、『デザインマネジメント』の組織への導入、実践を通じ



講演する
草野 紀親氏

企業の独自価値(Only One Value)を創造しよう!』と題して、デザインマネジメント3DAYSセミナーのDAY1(第一日目)を、デザインマネジメント専門家の草野紀親氏を講師としてお招きし、「企業価値の創造に向けて『デザインマネジメント』を知ろう!」をテーマにご講演いただきました。

当日はソニックシティビル四階市民ホールにて開催し、二二名にご参加いただきました。

◇講演の概要

- ・デザインマネジメントの2つの側面である「デザインのマネジメント」と「マネジメントのデザイン」についての概念。
- ・デザインマネジメントレベルについて、オペレーションレベル、組織レベル、戦略レベルの三つの階層に整理される。

- ・デザインマネジメントの成立条件として、デザインへの目覚め、責任者(キーパーソン)の存在、経営トップの関与が必要である。
- ・デザインマネジメントのタイプには、チャンピオン型、ポリシュー型、プロジェクト型、機能内包型、デザイン浸透型の五つがある。
- ・経営者が積極的にデザインに興味を示すことが重要である。
- ・ファシリテーター、ディファレンテーター、インテグレートター、コミュニケーターの四つの役割がある。

ら期待されるデザインの効果が異なる。

- ・デザイン導入について、経済的な効果、モノ作りにおける効果、イメージ・ブランド面の効果、意識・風土面の効果の四つの効果にマッピングしてデザインを取り入れる。
- ・技術的イノベーション(マーケティングリサーチ)か破壊的イノベーション(デザイン思考)か、どちらにマッピングするかが非常に重要となる。

第四回特別セミナー

『中小企業向けIoT・AI・RPA活用セミナー』を開催

IoT・AI・RPAによるソリューションや働き方改革の推進という言葉が日々飛び交う中で、中小企業の現状を見ると、関心はあるがこれらの技術やツールをなかなか導入できないというのが実情で、各種調査によると、「適用業務が未定」「データが準備できない」「費用対効果が説明できない」「何ができるかが把握できていない」といった理由が、IoT・AI・RPAの導入・活用できない理由の上位となっています。しかしながら、一方では、IoT・AI・RPAの導入・活用は、中小企業の喫緊かつ最重要課題であ

る生産性向上を実現するためには不可欠であることも事実です。

こうした状況を踏まえ、IoT・AI・RPAの導入・活用の参考としていただくことを目的として、十一月二六日(火)、大宮ソニックシティビル四階市民ホールにて、「中小企業向けIoT・AI・RPA活用セミナー」を開催し、四〇名の方にご参加いただきました。

講演Iでは、株式会社富士通マーケティング、産業営業本部産業ビジネス推進部長、小林厚夫氏を講師としてお招きし、「中小企業のIoT/AI活用(事例、効果と



講演を行う
林 薫氏



講演を行う
小林 厚夫氏

課題)」と題してご講演いただきました。製造・生産現場のデジタル化の取組みやDXに向けた準備・体制づくりの支援策、業種別AI・IoTの受注商談の状況などについてAIとIoTの現状についてのご説明がありました。また、AIによる自動化の事例やIoTによる全拠点間の見える化、機械学習を利用したAI画像認識による良・不良品判別の業務効率化の事例、さらには音声認識による音響振動診断など、多くの実践事例のご紹介をしていただきました。最後に、AI活用に向けて、効率的なAI活用システムの構築のポイントや、DX推進に向けての問題点などを示唆していただきました。

講演IIでは、AGS株式会社、デジタルイノベーション推進部、林薫氏を講師としてお招きし、「R